










第6次長期総合計画 成果指標一覧

資料 8

基本構想		成果指標										
まちづくりの目標 (編)	まちづくり の方向性	NO	新規 ／ 修正	指標名	左記指標 担当 課	基準値 (年度)	目標値 (年度)	目標値設定の理由 (設定根拠)	第 8 回審議会での意見	SDGs ローカル指標	未来創生 プロジェクト	
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	
分野 1 子ども	子どもたちの笑い声があふれるまち	く 健 や か に 育 つ ・ 育 て る 環 境 づ く り	1-1		「子育て支援の充実」の満足度	子育て支援課	21.5% (R1年度)	25% (R8年度)	切れ目のない子育て支援の充実により、基準値から3.5ポイント増の25%を目標値として設定する。			よ ろ こ び
			1-2	新規	乳児全戸訪問実施率	子育て支援課	100% (R2年度)	100% (R8年度)	出産後早期の親子の心身の健康を守るため、実施率100%維持を目標値として設定する。			よ ろ こ び
			1-3	新規	待機児童数 (年度当初)	子育て支援課	11人 (R2年度)	0人 (R8年度)	子育てをしながら就労する保護者を支援するため、目標値を0人に設定する。			よ ろ こ び
			1-4	修正	一時預かり保育利用者数	子育て支援課	935人 (H30年度)	950人 (R8年度)	基準値であるH30が直近で最も多い利用者数であり、それを上回る950人を目標値として設定する。			よ ろ こ び
			1-5		放課後児童クラブ待機児童数 (年間最大人数)	子育て支援課	5人 (R2年度)	0人 (R8年度)	子育てをしながら就労する保護者を支援するため、目標値を0人に設定する。			よ ろ こ び
			1-6		児童相談最終結件数	子育て支援課	108件 (R2年度)	108件 (R8年度)	児童相談は、件数0件が社会の理想であるものの、年々増加傾向にあるとともに、内容は多様化複雑化している。直近で相談件数の多かったR2年度の最終結件数と同じ108件を目標値として設定する。			
			1-7		「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	学校教育課	①小学校 国語：85.7% (90.8%) 算数：84.7% (86.6%) ②中学校 国語：92.0% (90.3%) 数学：83.3% (83.7%) (R2年度) ※ ( ) 内は仙台市を除いた県平均	県平均を上回る (R8年度)	個性を生かす学びや協同的な学びの充実などにより、県平均を上回ることを目標とする。			よ ろ こ び
			1-8		「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課	①小学校：95.5% (95.8%) ②中学校：96.5% (96.3%) (R2年度) ※ ( ) 内は仙台市を除いた県平均	県平均を上回る (R8年度)	児童生徒に対する普及啓発の充実などにより、県平均を上回ることを目標とする。			
			1-9		「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	学校教育課	①小学校：66.5% (67.5%) ②中学校：62.8% (56.9%) (R2年度) ※ ( ) 内は仙台市を除いた県平均	県平均を上回る (R8年度)	豊かな歴史や文化とふれあう機会の充実などにより、県平均を上回ることを目標とする。			よ ろ こ び
			1-10		こどもほっとスペースづくり支援事業実施主体数	子育て支援課	3主体 (R1年度)	6主体 (R8年度)	全市域に取組を広げるため、浦戸を除く小学校区数と同数の6主体を目標値として設定する。			よ ろ こ び
			1-11		地域などが主体となった「放課後の居場所づくり」支援者数	生涯学習課	- 今後取得予定 (R3年度)	450人 (R8年度)	地域学校協働活動の体制の整備を推進を図るため、地域コーディネーター・活動支援員・ボランティアなどの支援者数について、目標値を450名と設定するもの。			よ ろ こ び
指標数：12		1-12		「家庭教育」に関する学習を行い、理解を深めた人の割合	生涯学習課	- 今後取得予定 (R3年度)	基準値を超える 数値とする (R8年度)	家庭教育の学習機会の充実により、基準値を超える数値とする。目標として設定する。 ※令和3年度から新規にアンケートを実施するため、現時点では基準値を設定しないものとする。				

第6次長期総合計画 成果指標一覧

資料 8

基本構想		成果指標											
まちづくりの目標 (編)	まちづくり の方向性	NO	新規 / 修正	指標名	左記指標 担 当 課	基準値 (年度)	目標値 (年度)	目標値設定の理由 (設定根拠)	第 8 回審議会での意見	SDGs ローカル指標	未来創生 プロジェクト		
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l		
分野 2 福祉	みんなが生き生きしているまち	く健康で安心して暮らせる地域づくり	2-1		「社会的な活動」を行っている高齢者の割合 ※社会的な活動：働いている又はボランティア活動、地域社会活動、サークル等	長寿社会課	43% (R1年度)	63% (R8年度)	国の「高齢社会対策大綱」における数値目標の設定方法と整合性を図り20ポイント増の63%を目標値として設定する。			すみ よさ	
			2-2		介護予防に資する「通いの場」へ参加する高齢者の割合 ※住民主体の通いの場：住民が主体となり集団で行う体操の など介護予防に資する活動	長寿社会課	10.9% (R1年度)	前年度を上回る数値 (R8年度)	国の「高齢社会対策大綱」においては参照指標に位置付けられており、目標値が定められていないことから、前年度より増加させることを目標として設定する。				
			2-3	修正	認知症サポーター養成講座受講者数	長寿社会課	5,924人 (R2年度) ※累計	7,268人 (R8年度) ※累計	R3年以降毎年224人 (R2年度実績値) の受講者数の増を見込み目標値を設定する。				
			2-4		「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例」を知っている人の割合	生活福祉課	12.5% (R2年度)	50% (R8年度)	共生社会づくりの充実に向けて、条例の認知度を市民の半数にすることを旨とする。				すみ よさ
			2-5	修正	障がい福祉施設利用者の一般就労への移行者数	生活福祉課	10人 (R1年度)	17人 (R8年度)	国の第6期障害者福祉計画等にかかる基本指針において、成果目標をR5までに1.27倍と定めている。国の目標と整合性を図り、個別計画で定めているR5の目標値13人をさらに1.27倍とする17人を目標値として設定する。				やり がい
			2-6	新規	がん検診・精密検査受診率	健康推進課	①がん検診 (R1年度) ②精密検査 (H30年度) ・肺が ん : 46.6% 89.3% ・胃が ん : 28.0% 86.8% ・大腸が ん* : 47.0% 66.1% ・子宮頸が ん : 38.6% 89.5% ・乳が ん* : 53.3% 99.4% ・前立腺が ん : 14.5% 73.9% *大腸が ん、乳が んは、がん検診R2年度、精密検査R1年度の受診率	①がん検診 基準値を上回る数値 (R8年度)  ②精密検査 100% (R7年度)	新型コロナウイルス感染症の影響前の水準であるR1年度を基準年度とし (ただし、大腸が ん、乳が んは、受診率の高い年度である、がん検診R2年度、精密検査R1年度を基準年度とする)、がん検診受診率については、基準年度を上回ること、精密検査受診率については、100%を目標値として設定する。				
			2-7	新規	自殺死亡率 (人/10万人)	健康推進課	20.1 (H24年~H28年の5カ年平均)	14.1 (R3年~R7年の5カ年平均)	国、県の目標値との整合性を図り、基準値から3割以上減少させることを目指し、14.1を目標値として設定する。				
			2-8	新規	「嫌いなものも残さず食べる」子どもの割合	健康推進課	①小学生 : 41.4% ②中学生 : 53.7% (H30年度)	①小学生 : 46%以上 ②中学生 : 58%以上 (R8年度)	第3期食育推進計画 (2019~2023) の目標値を上回ることを目指す。				よ こ び
			2-9	新規	「地域の産物を活かした料理を食事に取り入れている」人の割合	健康推進課	34.4% (H30年度)	51%以上 (R8年度)	第3期食育推進計画 (2019~2023) の目標値を上回ることを目指す。				
指標数 : 10		2-10	修正	民生委員充足率	生活福祉課	93.3% (R2年度)	100% (R8年度)	地域福祉の推進を図るため、充足率100% (定数120人) を目標値として設定する。					











第6次長期総合計画 成果指標一覧

資料 8

基本構想		成果指標											
まちづくりの目標 (編)	まちづくり の方向性	NO	新規 / 修正	指標名	左記指標 担当 課	基準値 (年度)	目標値 (年度)	目標値設定の理由 (設定根拠)	第 8 回審議会での意見	SDGs ローカル指標	未来創生 プロジェクト		
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l		
分野 3 生 活	快適に 住み続け られるま ち	く安全 で安心な コンパ クトさを 生かした 住環境 づくり		3-1	自主防災組織結成団体数	市民安全課	83団体 (R2年度)	90団体 (R8年度)	地域防災力の強化に向けて、R2年度の団体数から、各年度1団体以上の増加を目指す。			すみ よさ	
				3-2	重要水道管路の耐震化率	水道部工務課	58.1% (R1年度)	64.8%以上 (R8年度)	「第7次配水管整備事業(H31～R6)」及び「第2次老朽管更新事業(R2～R6)」による64.8%(R6年度)以上を目標値として設定する。				
				3-3	公共下水道雨水施設整備(10年確率)の進捗率	下水道課	27.2% (R1年度)	30% (R8年度)	塩電市国土強靱化地域計画との整合性を図り、約3ポイント増の30%を目標値として設定する。			11 住み続けられるまちづくりを	
				3-4	犯罪発生件数	市民安全課	267件 (R1年度)	200件以下 (R8年度)	犯罪が起こりにくい環境整備や関係機関との連携の強化を図り、基準値から各年度5%減を目指す。			16 平和と正義をすすめるために	すみ よさ
				3-5	交通事故(人身事故)発生件数	市民安全課	115件 (R1年度)	85件以下 (R8年度)	交通事故防止に向けた普及啓発等に努め、基準値から各年度5%減を目指す。				
				3-6	「魅力ある都市空間の形成」の満足度	建設部	19.7% (R1年度)	30.0% (R8年度)	「門前町再生」など、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を進め、約10ポイントの増を目指す。			11 住み続けられるまちづくりを	すみ よさ にぎ わい
				3-7	修正 空き家利活用 の件数	定住促進課	6件 (R1年度)	45件 (R8年度) ※5カ年累計	空き家実態調査から利活用可能な空き家を386件と設定。その内22.6%の所有者が利活用(売却、賃貸)を希望(国交省の空き家実態調査回答値)すると想定し、10カ年の目標値を(87.24%)90件に設定する。 前期計画目標値:90÷10年×5年=45件/5年	目標設定値が適切か再度確認いただきたい。(同意見他1件)		11 住み続けられるまちづくりを	にぎ わい
				3-8	伊保石公園休日来園者数	土木課	15,000人/年 【休日】 (R2年度)	32,000人/年 【休日】 (R8年度)	令和2年度伊保石公園来園者数(休日のみ15,239人/休日122日)これより基準値を15,000人とする 親子連れが年に2回訪れると想定し、来園者数の倍増を目指す。 5,400(令和3年の年少人口)×3人×2回/年			11 住み続けられるまちづくりを	よ こ び
				3-9	「交通体系の形成」の満足度	政策課	22.4% (R1年度)	30% (R8年度)	バスやタクシー事業者と連携した公共交通体系の充実により、約8ポイントの増を目指す。			11 住み続けられるまちづくりを	すみ よさ
				3-10	新規 気候変動に関する普及啓発活動数	環境課	-	2回以上 (R8年度)	気候変動への関心を高めるため、出前講座の実施およびイベントに合わせた普及啓発活動を実施する。			13 気候変動に具体的な対策を	すみ よさ
				3-11	1人1日当たりの家庭ごみ排出量	環境課	721g (R1年度)	645g (R8年度)	環境課作成の「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の中で1人1日当たりのごみ排出量について令和8年度目標数値が生活系と事業系を合わせて1,000gとなっており、そのうち生活系が645gと設定されているため。			12 つくる責任 つかう責任	
指標数: 12		3-12		一般廃棄物のリサイクル率	環境課	20.7% (R1年度)	22.7% (R8年度)	「基準値」「目標値」とともに「事業者再資源化量」の数量を含んで算出したリサイクル率。 環境課作成の「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の策定時の基準値から目標値(20%)の達成まで5年間で2ポイント向上させていることから、同様に2ポイントの向上を目指す。		12 つくる責任 つかう責任			

第6次長期総合計画 成果指標一覧

資料 8




基本構想			成果指標								
まちづくりの目標 (編)	まちづくり の方向性	NO	新規 / 修正	指標名	左記指標 担 当 課	基準値 (年度)	目標値 (年度)	目標値設定の理由 (設定根拠)	第 8 回審議会での意見	SDGs ローカル指標	未来創生 プロジェクト
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l
分野 4 産 業	活 き が あ り、 誇 り を も っ て 働 い て い る 人 が た く さ	4-1		全水揚量に占める鯉・鯖一本釣漁業水揚量の割合	水産振興課	14.5% (R2年)	20.0% (R8年)	塩電市魚市場水揚量のうち、鯉・鯖一本釣漁業水揚量の割合 (鯉・鯖一本釣漁業水揚量/全水揚量)			
		4-2		地元の食材を利用したイベント回数	水産振興課	5回 (R2年度)	8回 (R8年度)	事業者・大学などと連携した魚食普及に関する体験機会充実に向けて、イベント回数の増を目標値として設定する。			
		4-3		塩電産品販路拡大支援事業による水産品輸出入出荷量	水産振興課	2,289kg (R2年度)	3,433kg (R8年度)	海外の食文化に適合した商品開発などにより、支援事業による輸出入出荷量の50%増を目標値として設定する。			
		4-4		創業支援等事業計画に基づく新規創業者数	商工港湾課	-	40件 (R8年度) ※5カ年累計	年 8 件 (※) の新規創業者数を指し、目標値を5カ年累計で40件と設定する。 (※) 創業支援等事業計画における年間創業実績の過去5年平均より設定			
		4-5	新規	塩釜港区取扱貨物量	商工港湾課	214万トン (R1年)	250万トン (R8年)	減少傾向にある取扱貨物量を、震災後の平均的な水準値である250万トンに回復させることを目指す。			
		指標数：6		4-6	新規	事業所数 (民営)	商工港湾課	2,849件 (R1年)	2,849件 (R8年)	年々減少していく事業所数について、新型コロナウイルス影響前の水準を維持することを旨とする。	
分野 5 交 流	何 度 で も 訪 れ た い ま ち	く 観 光 交 流 に よ る 賑 わ い づ く り	5-1	修正	観光客入込数	観光交流課	236.9万人 (R1年)	244.2万人 (R8年)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、R2年度については1,546,952人と基準年度より34.7%減少している。今後もワクチン普及や再拡大など観光動向については予測が難しい状況が続くため、R3年度、R4年度は回復期とし、R5年度に基準年まで入込数が回復すると想定した。その後は、コロナ前のH27年度～R1年度の5カ年の平均増加率 1%で推移すると設定し、R8年度に244.2万人の入込数を目標値とした。	目標値は回復ではなく、さらに向上させるべきである。 (同意見他 2 件)	
			5-2		観光消費額 (日帰り単価)	観光交流課	3,920円 (H29年度)	4,100円 (R8年度)	塩電市観光振興ビジョンにおいてH29に観光消費額調査を行って以降、調査は実施していない。現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、飲食店を含む観光関連企業への消費が大幅に減少しており、宮城県の新・宮城将来ビジョンにおける実施計画の目標指標でも観光消費額を設定しているがコロナにより設定が困難としている状況である。このようなことから、目標値については塩電市観光振興ビジョンにおける目標値を設定する。		
			5-3	修正	観光案内所の利用者数	観光交流課	16,692人 (R1年)	18,000人 (R8年)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、R2年については6,675人と基準年度より60%減少している。今後もワクチン普及や再拡大など観光動向については予測が難しい状況が続くため、R3年度、R4年度は回復期とし、R5年度に基準年まで案内所の利用者数が回復すると想定した。観光案内所は観光の総合案内としての機能を有しており、今後も観光客への利便性が高まるようなサービスを提供していくことで利用者増を図るものとし、年2%増 (観光客入込数の平均増加率1.0%の2倍) に設定し、目標値は18,000人とした。	目標値は回復ではなく、さらに向上させるべきである。 (同意見他 2 件)	
指標数：4		5-4	新規	ふるさと納税による寄付者数	政策課	6,097人 (R2年度)	9,200人 (R8年度)	基準値の50%増を目標値として設定する。また、関係人口を測る指標の一つとする。			

基本構想		成果指標										
まちづくりの目標 (編)	まちづくり の方向性	NO	新規 ／ 修正	指標名	左記指標 担 当 課	基準値 (年度)	目標値 (年度)	目標値設定の理由 (設定根拠)	第 8 回審議会での意見	SDGs ローカル指標	未来創生 プロジェクト	
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	
分野 6 文 化	日 常 に 彩 り が あ る ま ち	く 生 涯 に わ た っ て 学 び あ え る 風 土 づ く り		6-1	「歴史の継承と文化の振興」の満足度	生涯学習課	24.3% (R1年度)	28.0% (R8年度)	歴史や文化を生かしたまちづくりの推進により、約4ポイント増を目指す。			すみ よさ
				6-2	「ニーズにあった生涯学習機会の提供」の満足度	生涯学習課	- (R3年度)	基準値を超える 数値 (R8年度)	生涯学習環境の充実により、基準値を超える数値とすることを目標として設定する。 ※令和3年度から新規にアンケートを実施するため、現時点では基準値を設定しないものとする。			すみ よさ
				6-3	市民図書館の満足度	市民交流センター	68.5% (R2年度)	80%以上 (R8年度)	施設満足度評価のため、概ね満足との評価80%以上の維持を目指すもの。			すみ よさ
				6-4	「スポーツ機会の提供」の満足度	生涯学習課	- 今後取得予定 (R3年度)	基準値を超える 数値 (R8年度)	スポーツに親しめる環境づくりの充実により、基準値を超える数値とすることを目標として設定する。 ※令和3年度から新規にアンケートを実施するため、現時点では基準値を設定しないものとする。			すみ よさ
				6-5	スポーツ全国大会等出場者褒賞金交付者数	生涯学習課	8人 (R3年度)	30人 (R8年度)	スポーツを通じた人材育成への支援充実を図り、目標値を30人と設定する。			
				6-6	生涯学習施設と事業の満足度	生涯学習課	- 今後取得予定 (R3年度)	基準値を超える 数値 (R8年度)	生涯学習環境の充実により、基準値を超える数値とすることを目標として設定する。 ※令和3年度から新規にアンケートを実施するため、現時点では基準値を設定しないものとする。			よ ろ こ び
指標数：7		6-7		市民交流センター・遊ホールの事業の満足度	市民交流センター	94.4% (R2年度)	100%に 近づける (R8年度)	来場者にとって満足度の高い事業実施により、満足度100%を目指す。			よ ろ こ び	



第6次長期総合計画 成果指標一覧

資料 8

基本構想			成果指標										
まちづくりの目標 (編)	まちづくり の方向性		NO	新規 / 修正	指標名	左記指標 担 当 課	基準値 (年度)	目標値 (年度)	目標値設定の理由 (設定根拠)	第 8 回審議会での意見	SDGs ローカル指標	未来創生 プロジェクト	
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l		
分野 7 協 働	みんなが主役になれるまち	役割をこなせるまちづくり、	7-1		市民活動団体登録数	市民安全課	94団体 (R2年度)	100団体 (R8年度)	R2年度の団体数から、各年度1団体以上の増加を目指す。			すみ よさ	
			7-2		大学や企業などの包括連携協定の新規締結件数	政策課 各部	-	10件 (R8年度) ※5カ年累計	幅広い知見や技術などを積極的にまちづくりに取り入れるため、各年度2件の新規締結を目指す。			にぎ わい	
			7-3	新規	「市の広報紙は読みやすい」と回答した市民の割合	秘書広報課	23.1% (R1年度)	35.0% (R8年度)	市政だよりの内容の充実を図り、約12ポイントの増を目指す。 ※2年に1回実施している広報アンケート調査			すみ よさ	
			7-4	新規	「市の情報を市のホームページで知る」と回答した市民の割合	秘書広報課	18.5% (R1年度)	25% (R8年度)	市民の「約5人に1人」から「4人に1人」に増やすことを目指す。 ※2年に1回実施している広報アンケート調査			すみ よさ	
			7-5	新規	「市の情報を市のSNSで知る」と回答した市民の割合	秘書広報課	5.2% (R1年度)	50% (R8年度)	SNSについては登録者数が伸びていることから、市民の半数に普及することを目指す。 ※2年に1回実施している広報アンケート調査			すみ よさ	
指標数：6			7-6		健全化判断比率 ①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率	財政課	①- (黒字) ②- (黒字) ③6.2% ④- (将来負担額なし) (R1年度)	①- (黒字) ②- (黒字) ③6.0% ④- (将来負担額なし) (R8年度)	市債の借入抑制に努め、実質公債費比率について、0.2ポイントの減を目指す。他の比率については、引き続き発生しないよう効率的・効果的な行財政運営に努める。		17 		
分野 8 浦 戸 諸 島	自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま	く人々が住まい・集える持続可能な島づくり	8-1	新規	市営汽船乗船客数	浦戸振興課	15.8万人 (R1年度)	14.6万人 (R8年度)	復興事業の終了や人口減少などにより、約18,000人の利用者数減が見込まれるもの、浦戸再生プロジェクトの取組効果などにより、利用者数の減を13,000人に止め、目標値を14万6,000人と設定する。			すみ よさ	
			8-2	新規	浦戸諸島への新規定住者数	政策課	-	10人 (R8年度) ※5カ年累計	空き家の有効活用などにより年間2人の新規定住者数を指す。			にぎ わい	
			8-3		浦戸ブランド (海産物・農産物) 新商品開発数	水産振興課	-	10品 (R8年度) ※5カ年累計	浦戸特産物の6次産業化の推進などにより、新商品10品の開発を目指す。	浦戸の持続可能な振興のため、ぜひ計画的・継続的・重点的に政策を進めてほしい。			やり が い
			8-4	修正	ふるさと納税返礼品のうち浦戸産品の申込件数	政策課	410件 (R2年度)	615件 (R8年度)	浦戸産業の活性化と関係人口の増に向けて、令和2年度の件数の50%増を目指す。				やり が い
			8-5		アンケートで、浦戸の1次産業について興味があると回答した割合	水産振興課	-	50% (R8年度)	浦戸産業の魅力の磨き上げを行い、アンケート回答者の半数が浦戸産業に興味を持ってもらうことを目指す。	浦戸の持続可能な振興のため、ぜひ計画的・継続的・重点的に政策を進めてほしい。	14 		やり が い
			8-6	修正	地域おこし協力隊受入人数	水産振興課 政策課	2人 (R2年度)	11人 (R8年度) ※5カ年累計	浦戸再生に向けて、1次産業の担い手などを確保するもの。 ・1次産業 5年間のうち5人(年1人)の増加を目指す。 ・生活支援 5年間のうち2人の増加を目指す。 ・交流活動 5年間のうち2人の増加を目指す。		14 		やり が い
指標数：7			8-7	新規	交流事業による島外からの集客数	浦戸振興課	188人 (H29～R1年度の平均)	300人 (R8年度)	浦戸の交流人口増加に向けて、年間10回の交流事業を実施し、300人(30人/回)の集客数を目指す。			にぎ わい	